

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	cine-dynamic MRCPを用いた膵液の流れとIPMNとの関連性に関する検討
② 実施予定期間	実施許可日から 2031 年 3 月 31 日
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科において、キヤノンメディカルシステムズ社製の 3 テスラ MRI 装置で cine-dynamic MRCP を施行された患者さん
④ 対象期間	2018 年 12 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院
⑥ 対象診療科	放射線科、第 1 内科、第 1 外科、第 2 外科
⑦ 研究責任者	氏名 田辺 昌寛 所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	① 日常診療の記録から収集する項目（既存情報）： 識別コード、年齢（cine-dynamic MRCP 検査時）、性別、現病歴、既往歴、MRI 画像（cine-dynamic MRCP を含む）、MRI のパラメータ ② 本研究で検討する項目（測定や解析情報）： cine-dynamic MRCP における膵液の排出回数、移動距離、グレード、逆流の頻度、嚢胞性病変の大きさ・個数・部位、主膵管径、IPMN の種類（主膵管型、分枝型、混合型）、経過（膵癌合併の有無、嚢胞性病変の増大、膵実質萎縮の有無）
⑨ 研究の概要	膵臓MRIの画像診断は、組織や病変の形態、信号変化、造影効果などに基づく評価が中心です。一方、MRIは血流をはじめとする流れを評価する撮像法も存在します。選択的IRパルスを用いたcine-dynamic magnetic resonance cholangiopancreatography (MRCP) では、胆汁や膵液の流れを可視化することが可能であり、胆汁排出動態や膵外分泌機能の指標となりうることが報告されています。当院では、2018年12月にキヤノンメディカルシステムズ社製の3テスラMRIが導入され、導入後より日常診療においてMRCPを施行する患者さん全員にcine-dynamic MRCPが撮像されています。 膵管内乳頭粘液性腫瘍（intraductal papillary mucinous neoplasm: IPMN）は膵臓の嚢胞性腫瘍であり、粘液の産生により主膵管

	が拡張することがあります。その結果、正常な膵液流出が障害される可能性が考えられますが、cine-dynamic MRCPを用いた膵液流動の評価は、これまで十分に検討されていません。			
	本研究の目的は、cine-dynamic MRCPを用いてIPMN患者さんの膵液流動を検討し、非IPMN患者さんと比較することです。膵液の動態を解析することで、cine-dynamic MRCPがIPMNに対する機能画像診断法として臨床応用できる可能性があります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026 年 6 月 16 日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺 昌寛			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285